

新たな総合計画の策定に対する県民意見募集等の概要

1 実施期間

令和5年7月12日～令和5年8月15日

2 実施方法

- ・ 県民参加リーフレットの配架（県機関・市町村・高校・大学など）、イベント・会議等で配布
- ・ 県のたより、ホームページ、SNSで情報発信
- ・ かながわハイスクール議会2023で説明
- ・ 市長会議・町村長会議での意見交換
- ・ 県内全市町村に対し、文書による意見照会を実施
- ・ 「当事者目線の障害福祉」をテーマとした知事と当事者とのオンライン対話を開催

3 意見数

387件（うち県民347件、市町村40件）

(1) 分野別の件数

分野	件数	分野	件数
子ども・若者・教育	90件	共生・県民生活	64件
健康・福祉	26件	危機管理・くらしの安心	21件
産業・労働	31件	県土・まちづくり	34件
環境・エネルギー	69件	計画全般（その他）	52件
合 計			387件

(2) 反映状況

今後、素案（案）の作成過程で、整理する。

4 主な意見

※性別・年齢は、回答があった方のみ記載

No	意見要旨
1	<p>【子ども・若者・教育】 若者が結婚しないのは、出会いがないからではないと感じている。若者に結婚を勧めたいのであれば、結婚後に安心して子育てできる環境をつくることだと思うし、税金はそこに使うべき。若者の結婚率をあげるためだけの施策であれば、税金の無駄遣いであり、非常に残念です。（男性・40代）</p>
2	<p>【子ども・若者・教育】 未来ある子どもへの教育の質の低下を防ぐため、教職員の就労環境の改善が求められます。特に育児休業や療養休暇、介護問題を抱える教職員の負担軽減を図る必要があります。（男性・40代）</p>
3	<p>【健康・福祉】 少子化対策として、安心して子供を産める病院があることを望みます。（女性・30代）</p>

No	意見要旨
4	<p>【健康・福祉】 自殺対策、ネットでの誹謗・中傷対策をお願いしたい。</p>
5	<p>【産業・労働】 働き方改革が進められていますが、そもそも企業内に託児所などの保育施設があれば、親も子供も安心出来る環境が生まれると思います。多様な働き方が求められるなか、そのような会社基盤型の保育施設の導入を促進して欲しいです。（女性・20代）</p>
6	<p>【産業・労働】 住む場所のきめては、職住接近。企業誘致を頑張って欲しい。（男性・20代）</p>
7	<p>【環境・エネルギー】 脱プラスチック、脱炭素を徹底している社会であって欲しいです。それが新たな地域の価値となり、県の魅力もさらに増すと思います。（女性・30代）</p>
8	<p>【環境・エネルギー】 経済的な部分に注目するよりも、環境問題に積極的に取り組んで欲しいです。緑化計画に興味を持って欲しいです。</p>
9	<p>【共生・県民生活】 2023年6月に発表された「ジェンダーギャップ指数」について、世界146カ国中の日本は125位だった。日本は男女格差が大きいという現実を男性が認識し、女性活躍をこれまで以上に推進する必要がある。（女性・30代）</p>
10	<p>【共生・県民生活】 健康増進や地域交流など、スポーツの持つ多様な効果をもっと県民に理解を深めてもらい、実践してもらおうのがよい。（男性・40代）</p>
11	<p>【危機管理・くらしの安心】 防災準備をすることが大切だと思います。（女性・10代以下）</p>
12	<p>【危機管理・くらしの安心】 電動キックボードの運転者への啓発を行い、警察、道路管理者などがしっかり取り締まってもらいたい</p>
13	<p>【県土・まちづくり】 空き家対策について県は市町村と連携して、把握に努め、区間の整理など出来ないものではないでしょうか。街の景観を含め今後の課題です。（女性・40代）</p>
14	<p>【県土・まちづくり】 三浦は海があり、若者の移住にピッタリ。年寄りと、若者が共存できるような、街づくりを今からはじめれば、移住者が増えると思います。（女性・40代）</p>
15	<p>【計画全般（その他）】 人口減少を止めることはできず、現役世代の負担はますます増えます。行政に求めることは、その縮小した社会を前提に物事を進めてくれればと思います。（男性・20代）</p>